

# 北の子

浜岡北小学校だより 令和2年度6月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子

＜重点目標＞

進んで関わり 認め合う子

## 予測困難な時代への挑戦

前回の学校だよりにも掲載しましたが、「学習指導要領」では、「**予測困難な時代にあっても、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育むこと**」が重要だと書かれています。現在進行中の新型コロナウイルスへの困難な対応は、まず私たち大人自身がそういった資質・能力を伸ばすチャンスと捉えて前向きな気持ちで挑戦し、失敗や成功の経験を生かした取組を積み重ねていくことが大切です。それが、明るい未来の創造と子どもたちの資質・能力の伸張につながっていくと思います。

今回の長期的な休校は、特に「教師が直接指導できない」「パソコンなどによるオンライン授業の学習環境が整っていない」という状況の中で、「規則正しい学習・生活習慣の定着」と「新学年の内容の自力学習」が大きな課題でした。そこで、一つ目の課題に対しては、**生活表の作成や時間割制による家庭学習の提示方法**などの工夫をしました。また、二つ目の課題に対しては、**学習プリントの準備や関係するテレビ番組などの紹介**を行いました。そして、学校再開直前になってしまいましたが、ホームページへの動画の掲載が可能なシステム環境が整ったため「**学習意欲の向上**」を主な目的とした**学習動画**を作成・配信しました。

以下の表は、これらの成果を確認するため、保護者の皆様に御協力をいただいたアンケートの結果です。

### 休校期間中にできた子の割合（項目別）

|   |      |
|---|------|
| 生活表を活用して、早寝・早起きなど、規則正しい生活をする。             | 約67% |
| 日課表（時間割）を活用して、進んで学習に取り組む。                 | 約74% |
| 家でもできることを考え工夫し、運動することを心がける。               | 約80% |
| ゲームや動画（学習に関係する動画以外）は、「〇時まで」など家での約束を守って使う。 | 約58% |



### 達成項目数別人数の割合

|             |      |
|-------------|------|
| 4項目ともできた。   | 約39% |
| 3項目できた。     | 約26% |
| 2項目できた。     | 約17% |
| 1項目だけできた。   | 約11% |
| 1項目もできなかった。 | 約7%  |

二者択一という大雑把なアンケートのため正確な分析はできませんが、学校の手立ては、一定の効果があったようです。また、家庭学習の提出状況や学校再開後の子どもたちの元気な様子から、多くの家庭においてかなり規則正しい学習・生活をしていたことがうかがえ、保護者の皆様の御協力に感謝しています。その反面、「家庭学習の負担が大きかった。」「中学校と同じように

希望者へのiPadの貸し出しをしてほしかった。」などの感想もありました。今回、市内の全小中学校で情報交換を行いながら、本校としてできることに取り組んできましたが、再び休校になった場合には、さらに改善をしていきます。項目別の**最大の課題は、ゲームや動画の使用に関すること**で、御前崎市全体で取り組んでいる「ゲーム障害・ネット依存防止」を推進していく必要があります。また、特に生活・学習習慣の乱れが大きかった子どもを中心に、学校と家庭が連携して改善に取り組んでいきたいと考えています。



コロナ対策の一環として給食時以外の学校生活や登下校時に原則としてマスク着用であったことが、「体育時における呼吸障害」や「熱中症」の危険性が高まったことにより着用条件が変更されたように、新たな課題が発生するたびに国の対応や文部科学省の指示が目まぐるしく変更されていく状況です。また、様々な教育活動について「子どもの安全」の視点などから方法の変更や中止・延期することも考えられます。保護者の皆様にも対応をお願いすることが多いかと思いますが、御理解・御協力をよろしくお願ひします。

(校長 北原 弘明)

